

## アニヴィエの谷は未知の世界

### ☒ 移牧と数奇の伝統(Past & Present, Folklore & Tradition)

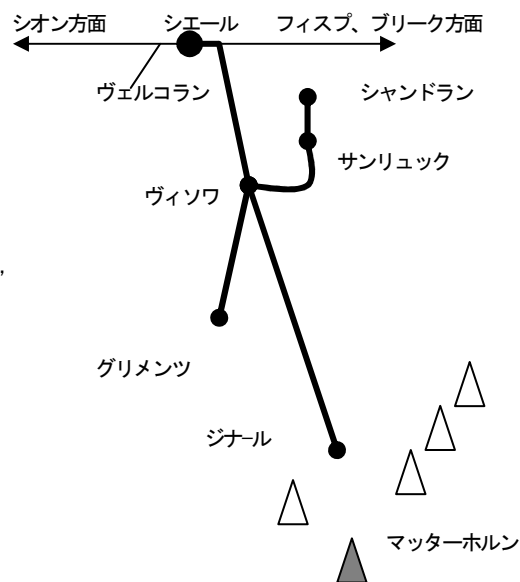
今から数千年も前の、ケルトの石と呼ばれる巨石の数々、ローマ軍の残した遺物、フン族やサラセンの末裔といわれる人々、そして 20 世紀初頭まで続いた、谷の麓と奥の村を季節によって移り住む移牧の風習と、現代に引き継がれた強固な山岳共同体を形成するブルジョワジー階級、今に伝わる氷河ワインなど、アニヴィエの谷は、実に数奇な伝統を継承する、スイスでも稀な地域です。

海拔 540m から 3000m 近くまで一気に登るこの深い渓谷の中心はナヴィサンス川で、その両岸は豊かな植物体系をもち、高山植物はもちろん、カラマツや樅の深い森を形成しています春のブドウ栽培、夏の放牧、秋のブドウ取り入れに合わせて、人々はいろいろな高度に住まいを持ち、それがいま谷に点在する花一杯の村となりました。斜面にとりつくようにたてられた村には、共通して木造りのシャレとラカールと呼ばれる納屋が作られ、長い間の風雪と太陽光線に耐えて、素朴で力強い存在感を見せます。観光が発達すると、アニヴィエの谷は登山家たちの興味の対象となりました。それは谷の奥に夢のように美しい姿を覗かせる、ワイスホルン、ジナルルートホルン、オーバーガーベルホルン、マッターホルン、ダンブランシュの白い峰々の誘惑でしょう。

### ☒ アクセス(Access)

アニヴィエの谷は、ヴァレー地方の山深く分け入る沢山の谷のひとつで、ツェルマットへ行くマッターの谷の、丁度西の裏側にあたる、全長 30 キロほどの深い渓谷です。アニヴィエの谷からは、マッターホルンが西北の方角から眺められ、ツェルマットから見るのとは全く形が違って古来神の山として崇められてきました。

谷の入口のスイス国鉄駅は、シエール (Sierre) で、ここから谷の内部へ行くには郵便バスを利用します。アニヴィエの谷全体の行政の中心はヴィソワ (Vissoie) 村。麓に近いヴェルコラン (Vercorin) の他、サンリュック (St. Luc)、シャンドラン (Chandolin)、グリメンツ (Grimentz)、ジナル (Zinal) の合計 6 つが主要な村で、その中でも後者 4 つのリゾートは、数々の魅力で訪問客を引き寄せています。谷のバス系統は、シエールからヴィソワへ一本、そこからグリメンツ、ジナル、サンリュック/シャンドラン行きの三本のバスが接続しており、一部の直通バスをのぞき、すべてヴィソワで乗り換えとなりますが、目の前にバスが待っているので不便はありません。



### ☒ 担当観光局

上記の主要な村には、観光局のインフォメーションが置かれていて、現地でのイベントと案内業務をします。その他、各所のホテルの予約や新しい企画、メディアの対応は、下記の総合オフィスが担当します。

☒ Sierre-Anniviers Tourisme  
CH-3960 Sierre/Switzerland  
☎ + 41 (0) 848 848 027 fax + 41 (0) 27 451 7115  
www.sierre-anniviers.ch info@sierre-anniviers.ch

# ①花の村グリメンツ

Grimentz 1570m

初夏から秋の終わりまで、グリメンツの村はバルコニーに飾られたジェラニウムや他の花で、村全体が膨れ上がったように美しい様子を見せます。谷の西側に張り付いたように作られたグリメンツの村は、移牧の時代にも、比較的長く人が滞在したため、花の世話をできる期間も長かったのです。ジェラニウムは手のかからない経済的な花で、当時の貧しい移牧民に適していたということです。

## ✂ 旅行者も、村びとも花のコンテストへ一票！(Concours des balcons fleuris)

村の伝統では、バルコニーを一番美しく飾った家は、教会に花を寄進することが許されました。その風習が発展したのが、「バルコニーの花コンテスト」です。1930年以来の伝統です。

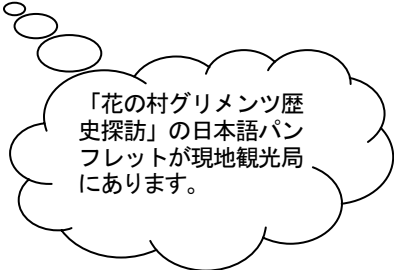
村で10軒の花自慢の家が参加、村びとも観光客も、村内をぶらぶらしながら、三軒を選び、投票します。

投票の結果は、毎年8月16日の、サンテオドル守護聖人の日に発表されます。

このコンテストは、だれでも参加でき、投票用紙は観光局にあります。日本語でも用意されています。

## ✂ ブルジョワジーとは？(Bourgeoisie)

ブルジョワジーというのは、古くからこの谷に土地を持っていた人々の共同体で、いまでも森林とかブドウ畑は彼等の所有です。地主という言葉に近く、その組織は強固な連帯意識で結ばれています。名前を聞けばブルジョワかどうかすぐ判ります。サラマン、ズフレ、ファーブル、ボンなどという名前はすべてこの家系のもので、当然村の有力者が多く、村の行政と並立するほどの実力ですが、実際には重複していて、なんの問題もありません。



「花の村グリメンツ歴史探訪」の日本語パンフレットが現地観光局にあります。

## ✂ ブルジョワジー会館と氷河ワイン(Maison de Bourgeoisie & Vin du glacier)

ブルジョワたちの会合の場所がメゾン・ド・ブルジョワジーです。グリメンツのものは、村の入口のすぐ右手にあり、1550年に建てられた村一番の古い建物です。この中には、ブルジョワジーの身分を示す家紋入りのシャンヌ(錫で出来たデカンター)がずらりと並ぶ会議室や、珍しい木製のワイングラス、古い家具などが置かれています。地下のワイン蔵には、有名な「氷河ワイン」が貯蔵されています。「氷河ワイン」とは、麓のシェールで収穫したブドウを、氷河に近いこの村で醗酵させてワインにしたものをいいます。ワインの樽は数個並べておいてあり、古い順に少しずつ新しい樽から移して、いつでも一定の量を保ちます。注ぎ足していった一番古い氷河ワインは、まるでブランデーのような濃厚な味になります。この他の場所にも、氷河ワインを貯蔵している場所が村の中にいくつかあります。

## ✂ 村共同のパン作り(Four banal)

昔は、人々は毎日パンを焼いて食べることはありませんでした。月に一度、村びとが順番に村のパン竈に集合して、ライ麦パンを焼いたのです。このためアニヴィエの村むらは、村に一つ共同のパン焼き竈を持っています。大量に焼くため、4メートルもある長い竿で出し入れします。グリメンツでは、現在「白い家」にあるパン焼き竈で、当時をしのぶパン作りの実演をしています。ライ麦パンは丸くて固く、日数のたったものはカナヅチで割って、コーヒーに浸して食べたといえます。

## ✂ 高山植物の宝庫、モワリーダム周辺(Barrage de Moiry)

グリメンツから郵便バスでさらに谷の奥に入ると、行き止まりのモワリー氷河に達します。その水をせきとめたのがモワリーダム。ダム湖の一周は約2時間半の高山植物一杯のハイキングコースです。ダム入口のレストランで下車して一周、またはその奥の氷河直下の終点で下りて、半周をハイキングすることも可能です。

## ✂ グリメンツのホテル(Hotels)

3つ星のアルピナ(Alpina)、クリスタル(Crystal)の2軒のホテルの他、2つ星ホテルが2軒。

## ☒ GRIMENTZ/ST.JEAN TOURISME

CH-3961 Grimentz/Switzerland

☎ +41(0)27 475 1493 Fax +41(0)27 475 2891

www.grimentz.ch grimentz@sierre-anniviers.ch

## ②星好き必見のサンリュック St. Luc 1650m

サンリュックの上方のティニューザの高台には、天文台(Observatoire François Xavier Bagnoud)があります。標高 2200 メートルのこの地点は、人口の明かりが届かない、とても星の観察に適した場所だからです。昼夜を問わず太陽の観測もできるこの施設では、最新設備を使った星の観察が出来、体験コースなどもアレンジされています。

### ✪ 惑星の道(Chemin des planètes)

サンリュックからブルーの素敵なケーブルカーで 3 分。頭の上をさえぎるものはなにもないティニューザの高台に達します。左手の丘には、天文台が見えます。ここから南へ向かって全長 6 キロの「惑星の道」ハイキングコースが作られています。目標は、正面の山の上に小さく見えるホテル・ワイスホルンですが、途中から引き返したり、右手に下りて、サンリュックの村までハイキングすることも可能です。

「惑星の道」は、太陽系の 9 つの惑星（太陽を含む）の大きさ、重量、距離間などを、正確な縮尺で再現して、標高 2200 メートルのハイキングコースに配置したもので、これを歩くことにより一つ一つのモニュメントを観察しながら、科学の勉強の一端を覗くことができます。天文に興味がなくとも、ハイキングコース沿いの高山植物や、谷の奥に見えるmatterhornの連山を西北方向から見ると楽しさは最高です。ほぼ中間地点の、ホテル・ワイスホルンの直下に土星がありますから、この辺で右手へ下りて、サンリュックの村を戻ることができます。

### ✪ ホテル・ワイスホルン(Hotel Weisshorn)

惑星の道の最後の胸突き八丁をのぼると、憧れのホテル・ワイスホルン（2337m）へ達します。1882 年に建てられ、1991 年に改装されたこのホテルは、徒歩か冬はスキーで来るほかアクセスの方法がありません。ハイキングやスキーの疲れをいやすレストランの他、44 ベッドあります。ホテルの付近には、天王星、海王星、そしてホテルの 1.5 キロ先に、冥王星のモニュメントがあります。

### ✪ 6つの水車(Moulins de St. Luc)

星の観察で新境地を開いたサンリュックも、アニヴィエの他の村と同様、移牧の中継地のひとつであり、強固なブルジョワジーの共同体が発達した村です。村のはずれには、ブルジョワジーがいまでも管理する 6 つの水車があり、いろいろな穀物別に異なる引き臼で粉を引く他、繊維をたたいて柔らかくしたり、様々な機能を果たしていました。こうして引いた粉は、村びとがパン焼き日に集まって、村の中央にあるブルジョワジー会館の入口にある大きなパン焼き竈でパンにします。この建物の外壁には当時の 4m もあるパン竿が斜にかかっています。

### ✪ アニヴィエの谷の巨石伝説 (Pierres des Sauvages)

谷のあちこちに数千年前の巨石が残っていますが、サンリュックのものは「未開人の石 Pierre des Sauvages」と呼ばれる巨大なものです。ブルジョワジー会館の前をぐいと山の方に入った森の中にひっそりとおかれており、訪れる人もありません。石の表面には無数の小さな穴が彫られていて、この石が信仰のためか、いけにえのためか、いまだに科学的には解明されていません。一方グリメンツには、明らかに信仰の対象だったと想像できる足型を備えた「殉教の石 Pierres écuelles」が、モワリ-ダム方面の村はずれの川のほとりにあります。ケルトの文化を伝えるひとつの資料ですが、注目するひとはわずかです。

### ✪ サンリュックのホテル(Hotels)

アニヴィエの谷が誇るホテル「ベラ・トラ」（3つ星）がサンリュックにあります。1882 年、このホテルの建設中に、青銅器時代から鉄器時代の墓やガロロマンの遺物を発掘、現在チューリヒの国立博物館の所蔵されている貴重な遺産です。最近改装して、古い伝統の上に若い発想を重ねた素晴らしい山のホテルになっています。他に 2 つ星ホテルが 2 軒あります。

☒ OFFICE DU TOURISME DE ST. LUC  
CH-3961 St. Luc/Switzerland  
☎ +41(0)27 475 1412 Fax +41(0)27 475 2237  
www.st-luc.ch saint-luc@sierre-anniviers.ch

SWITZERLAND  
EESTIS  
ESTONIA  
LATVIA  
LITHUANIA  
POLAND  
SLOVAKIA  
SLOVENIA  
CZECHIA

### ③ 天と地の間のシャンドラン Chandolin 2000m

サンリュックからさらに奥に上がった、地続きとして最果ての村がシャンドランです。標高 2000 メートル、人が常住する場所としてはスイスでも稀な高さですが、つい最近まで、冬は完全に閉鎖されていました。ヴィソワからヘアピンカーブでサンリュックへ登り、そのまま北に向かった道路は、ここシャンドランでおしまい。あとは手付かずの自然と植物体系が残る山道と、目もくらむような断崖に阻まれます。直下にシエールの村を遠望する地点はカルヴェールの丘と呼ばれ、2つの十字架がたつ霊地と考えられています。

#### ✂ 植物の道ハイキング (Promenades botaniques)

カラマツとアローラ松が生育するにもっとも適した 2000 メートルの標高は、沢山の高山植物の宝庫でもあります。バスの終点である観光局前から、背後の斜面を登り、夏のチーズ小屋あたりを一周するハイキングコースは花一杯の「植物の道」の標識が立てられていて、くわしいガイドブックも発行されています。この他に、鳥や動物を観察できる「雷鳥の道」なども作られています。背後の山はイルホルン Illhorn で、山小屋もあり、付近の渓谷イルグラーベン Illgraben は、異様な地形とともに、高山植物の宝庫になっています。

#### ✂ エラ・マイヤール (Espace Ella Maillart)

20 世紀のスイスが生んだ最高の女性冒険写真家であるエラ・マイヤールは、約半世紀シャンドランに住み、ここで没しました。現在彼女のシャレーと、遺品や文献を展示したエスパース・エラ・マイヤールが旧村の中央にあります。

#### ✂ シャンドランのホテル (Hotel)

郵便バスの終点近くにホテル・プランプラ Hotel Prampas \* \* の他、村の奥にペンション・シャモワ Pension Chamois があります。

- ☒ OFFICE DU TOURISME DE CHANDOLIN  
CH-3961 Chandolin/Switzerland  
☎ +41(0)27 475 1838 Fax +41(0)27 475 4660  
www.chandolin.ch chandolin@sierre-anniviers.ch

### ④ 「王家の冠」直下のジナール Zinal 1670m

アニヴィエの谷の最奥の村がジナールです。ジナール氷河から静かに流れ出すナヴィサンス川に沿って、旧村には古いシャレーが立ち並び、続く新しい村は多くの登山家を迎えたホテルやレストランで賑わいを見せます。見上げる谷の奥には「王家の冠」と称されるチナルロートホルン、オーバーガーベルホルン、ワイスホルン、マッターホルン、ダンブランシュの5つの 4000 メートル級の山々が立ち並び、登山家の心を誘います。

#### ✂ ソルボワ (Sorebois) の空中ケーブル

郵便バスの終点から少し戻るとソルボワの空中ケーブルの発着所があります。頂上まで 6 分。途中マッターホルンの後ろ向きの姿を垣間見ることができます。頂上のレストランからはワイスホルン方面を見渡す絶景。背後のソルボワ峠 (2835m) を越えて、グリメンツの奥のモワリーダムにハイキングコースがつながります。

#### ✂ シエールージナールマラソン (Course pédestre Sierre-Zinal)

1974 年以来、毎年 8 月の第 2 日曜に行われる、麓のシエールの町からジナールまで、約 50 キロの山道を走破するイベント。「王家の冠」の 5つの 4000 メートル級の山々を満喫する、ウォーキングマラソン。

#### ✂ ジナールのホテル (Hotels)

ヨーロッパ Europe, ブクタン Les Bouquetins, ベッソ Le Besso の 3つの 3ツ星ホテルがあります。

- ☒ OFFICE DU TOURISME DE ZINAL  
CH-3961 Zinal/Switzerland  
☎ +41(0)27 475 1370 Fax +41(0)27 475 2977  
www.zinal.ch zinal@sierre-anniviers.ch